

# 「学びの姿勢」 見せる保育参観

# ひばり新聞

Hibari

号外

発行月

6月

## ドキドキワクワク伝わる成長の一日

ひばり幼稚園では、全学年を対象とした保育参観を実施しました。今回ご覧いただいたのは、普段子どもたちが取り組んでいる正課活動の様子です。園生活のなかでどのように学び、育っているのかを、実際の活動を通して保護者の皆さまにご覧いただける貴重な機会となりました。

当日は、自分の頑張る姿を見てもらえる嬉しさと緊張感が入り混じり、なんだかドキドキワクワクしている様子の子どもたち。

2歳児クラスのつばさ組では、保護者の姿を見て思わず涙をこぼしてしまう子の姿も見られましたが、活動に最後まで取り組み姿勢を見せてくれました。まだ幼いながらも、「がんばる」ことをしっかりと理解し、自分なりに表現する姿に、保護者からも温かな拍手が送られました。



一方、年長組の教室では、ひととき落ち着いた空気が流れていました。全員が前を向いて座り、先生の話に耳を傾けながら活動を進めるその姿に、「小学生のように真剣」「こんなに集中できるなんて驚きました」といった声が多く聞かれました。

そんな年長さんも、活動終了後に保護者の方々が教室を離れる際には、涙を流す姿も。頑張った後の安心感と、見守ってくれていた人との別れの寂しさ。そんな表情に、子どもたちの成長と心の豊かさが表れていました。

今回の参観は「園での子どもたちの今の姿」「園が大切にしている教育のかたち」を実感していただける場となりました。ひばり幼稚園では、今後もご家庭と連携しながら、一人ひとりの「やってみよう」「もっと知りたい」という気持ちを大切に育ててまいります。

## 水しぶきと笑顔あふれるウォーターパーク



6月後半、ひばり幼稚園では毎年恒例の「ウォーターパーク」が始まりました。

園庭に登場したビニールプールや水遊びのビニール遊具、水鉄砲コーナーなどに、子どもたちは目を輝かせて大はしゃぎ。初日からまるで夏の幕開けを告げるかのような一日となりました。

年間を通して室内プールで実施する正課活動「水泳教室」は年中組からの活動ですが、ウォーターパークは2歳児から年長児までが各クラス、水に親しみながら思いきり体を動かして参加しています。

水遊びを通して育つのは、元気な身体だけでなく、挑戦する気持ちや仲間とのつながりです。

水しぶきとともに、笑顔が咲き誇った園庭。少し早い夏の思い出が、またひとつ刻まれます。

## 「じかんわり」で広がる学びの芽

年長組では「時間割」の取り組みを行なっています。子どもたちは毎日、時計と時間割を見ながら「今日はどんな活動があるのかな?」「次は何の時間かな?」と、一日の流れを自分で意識しながら生活しています。

この取り組みの背景には、小学校入学後の戸惑いに備えた準備という思いがあります。実際、小学校との連絡会でも「入学してから時間で動くことに慣れるのが大変」という声が小学校の先生から聞かれることがあります。幼稚園という安心できる場所から聞かれることのできることは、子どもたちの心にとって大きな支えになるのです。

帰りの会では、みんなで翌日の時間割を確認するのが日課に。「明日は食育の日!」「英語があるよ!」と、予定を知ることが楽しみのひとつになっています。また保育中にも、「もうすぐ体操の時間だよ」と子ども自身が気づき、自分から行動する場面が少しずつ増えてきました。「次がわかるって、なんだか安心する」「自分で準備できるって、ちょっと誇らしい」そんな小さな気づきが、子どもたちの中で育まれています。



### 今月のお知らせ

#### ひばりの取り組み紹介

Instagramでは、ひばり幼稚園の取り組みや思いをお伝えする記事も更新!ぜひみなさまご覧ください! いいね・フォローも大歓迎です!



@HIBARI\_KINDERGARTEN